

令和7年度 よどえバザール園 事業計画書

1. 施設理念

穏やかな関わりで お子さんの未来を開きます

2. 施設方針・テーマ

- (1) やさしい声かけで 穏やかな心を育てます。
- (2) 保護者が安心して預けられる保育の充実に努めます。
- (3) 互いが認め合い、支え合う職場環境を作ります。

3. 実施事業及び定員

- | | |
|-------------|--|
| (1) 事業所内保育所 | 定員 50 名 (従業員枠 20 名枠・地域枠 30 名
(2 歳児 15 名、1 歳児 20 名、乳児 15 名)) |
| (2) 特別保育事業 | 延長保育・一時預かり保育・障がい児保育 |

4. 重点目標

抱負・目標

- ◆一人ひとりの発達に即した援助を行い子どもの人権と主体性を尊重し
丁寧な保育に努める
- ◆法人内職員の子どもをスムーズに受け入れできる事業所内保育の充実
- ◆心理的安全性が高いチームづくり

(1) 人財育成と職場定着

- ①子どもの主体性を大切にしたい、柔軟な対応ができる職員の育成を図る。
- ②職員ひとり一人が安心して自分らしく働くことができる職場づくり。
- ③法人内保育園や連携園との交流（公開保育、合同研修等）、行政機関との連携により不適切保育を予防するとともに専門的知識と技術の向上を目指す。
- ④ＫＹ活動に取り組み、腰痛や労働災害の防止・メンタルヘルスに努めると共に、個々の健康増進・維持管理の意識化を図る。

(2) 利用者へのサービス提供（顧客満足・質の向上）

- ①今できることに焦点を当て、子どもの意欲や自己肯定感を引き出す運動遊び
- ②参観日等の保護者参加行事の開催により、事業の透明化と保護者の満足度の向上を図る。
- ③近隣施設との交流を行い、いろいろな人との関わりを楽しむ機会を提供する。
- ④法人職員が育休からスムーズに復帰し、安心して働くことが出来るよう事業所

内保育所としての機能を果たす。

⑤ I C Tやホームページの活用により、開かれた施設運営を実施する。

(3) リスク対策（感染・安全・災害等）

①リスクに対する予防を強化する。

- ・ 職員の対応や気付きで防止できる事故の件数の減少
- ・ アレルギー除去食の対応強化／各種感染症予防と衛生管理の徹底／SIDS 予防

②安全対策と危機管理を行う。

- ・ 火災、地震、津波、洪水、台風、大雪等、自然災害と不審者に対する備え
- ・ 年間計画の見直し、災害訓練（不審者対策訓練）を毎月実施

③日本保育保健協議会の情報活用

(4) 施設・設備整備

①自動芝刈りの活用、園庭・園舎周辺の美化と整備に努める。

②設備等の修理・買い替えを適切に実施し、子どもたちが安全に過ごすことができ、職員が働きやすい環境を整える。

(5) 地域連携・社会貢献

①保護者・家庭及び地域の保育ニーズに応じ、延長保育・一時預かり保育園内開放などを行い子育て支援に努める。

②近隣施設や連携園との交流や学校・施設などのボランティアの受け入れを行い繋がりを広げていく。

(6) 経営管理

①運営会議・全体会にて一人ひとりの職員が当施設の収支に関心を持ち、経営に参画する。

②適正な職員配置を行い、関係機関との連携を密に定員数の確保に努める。

③物価高騰により給食材料及び納入業者の見直しを行い経費削減に努める。